群馬大学未来先端研究機構 セミナー
Gunma University Initiative for Advanced Research Seminar



テーマ/ Theme

がん細胞の多様性はどこから生まれるのか？
DNAバーコードで細胞の系譜を追い、がんの適応戦略に迫る

日時/ Date

2027.1.8 (金/Fri.) 16:00~17:00

会場/ Venue

基礎医学棟4階　大学院セミナー室(群馬大学 昭和キャンパス)
※オンライン同時配信なし ※No online simultaneous distribution

講演者/ Speaker

（公財）がん研究会 がん研究所
がんエピゲノム研究部　特任研究員

宮田　憲一　先生

主催/ Organizer

未来先端研究機構遺伝子治療学研究部門
二村　圭祐　教授

　がん細胞は、同じ腫瘍の中でも多様な性質を示し、その違いが治療への応答や環境への適応に大きく関わると考えられています。しかし、こうした多様性がどのように生まれ、どのような機能的な意味を持つのかは、十分に解明されていません。
　宮田先生は、DNAバーコード「PseuMO-Tag」によるクローン系譜追跡と単一細胞解析を組み合わせ、がん細胞の不均一性と可塑性の分子基盤を研究しています。本セミナーでは、クロマチン制御因子ARID1Aの欠損が、同じクローン内でも多様な細胞状態を生み出すことを示した最近の研究成果を中心に、PseuMO-Tagを活用した複数の研究例を通じて、がん細胞の多様性と環境適応の関係についてご講演いただきます。

代表論文：
Sci Adv 2026, ***Nat Commun*** 2026, ***PNAS*** 2023/2021 など

群馬大学
GUNMA UNIVERSITY

お問合せ / Contact

未来先端研究機構
遺伝子治療学研究部門二村研究室
Email: nimura ＃ gunma-u.ac.jp
(#を@にご変更ください)

未来先端研究機構
ウェブサイト